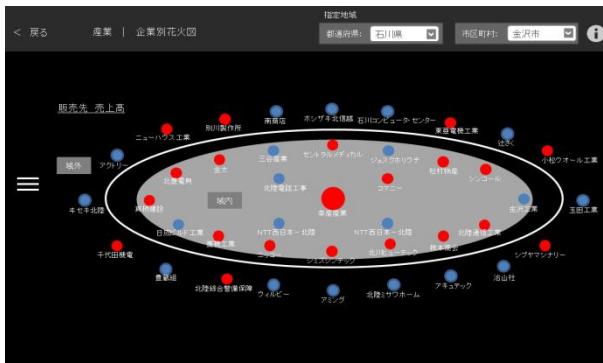
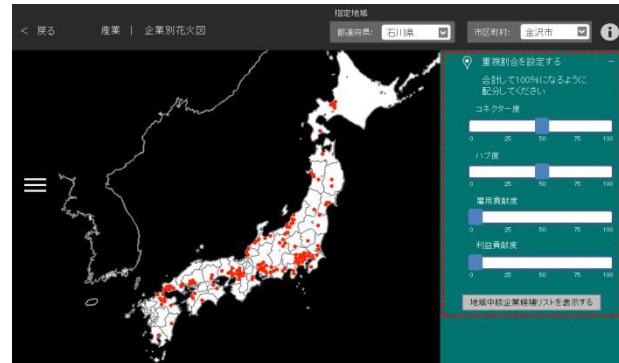
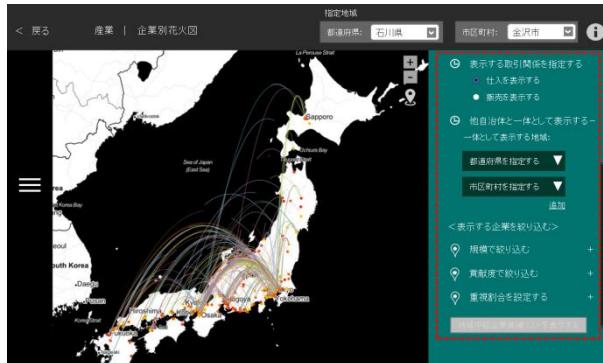
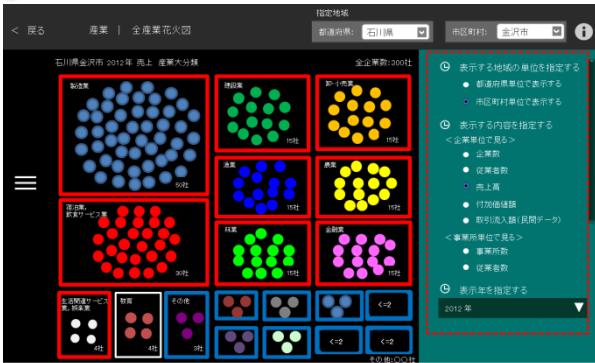


- 地域経済に係わる様々なビッグデータ(企業間取引、人の流れ、人口動態 等)を収集し、かつ、わかりやすく「見える化(可視化)」するシステム。
- 「見える化(可視化)」により、**中立的かつ客観的な根拠抽出**を行うことが可能となり、経験・勘や一部の現場情報に多くを依存した従来の意思決定システムから、より客観的・中立的な政策意思決定システムへの転換が促進される。
- 「地域経済分析システム」を活用することで、人口減少、過疎化が進展し、疲弊する地域経済を活性化していくために不可欠な、**地域の実態把握や将来像の客観的な予測**を行うことが可能となるため、**地域の実情に応じて効果的な政策立案**を立案することが容易になる。

産業マップ

【機能】民間調査会社が有する膨大な企業間取引データ等を「見える化(可視化)」することで、地域経済における産業構造や企業間取引の実態を空間的かつ時系列的に把握する。
【運用】国や地方自治体による**地域産業政策**や**地域活性化政策**の立案に活用する。



地域中核企業候補抽出結果

順位	業種	資本金 (千円)	従業員数 (人)	売上高 (千円)	当期純利益 (千円)
1	〇〇産業	32,000	200	68,000	13,000
2	△×工業	50,000	100	60,000	12,000
3	××物産	20,000	90	50,000	15,000
4	〇△テクニカ	25,000	70	30,000	10,000
5	××工業	30,000	85	50,000	10,000
6	〇×産業	10,000	90	20,000	10,000
7	〇〇物産	5,000	60	9,000	5,000
8	××興業	8,000	30	10,000	8,000

＜例1＞石川県内の全産業別火花図

＜例2＞企業別火花図と企業詳細情報

＜例3＞地域中核企業候補選定画面

観光マップ

人口マップ

自治体比較マップ

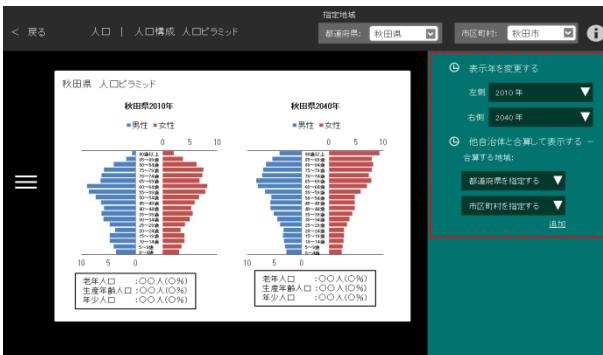
【機能】携帯電話の位置情報データやカーナビデータを用いることで、**人の流れ**を「見える化」し、把握。また、より細かいメッシュ単位で、1時間単位で、**滞在人口(集積度合い)**を把握。
【運用】地方自治体による**個別の観光地政策立案**や自治体間での**広域観光連携**の促進等に活用できる。

【機能】市区町村、都道府県単位で、**人口推移**、**人口ピラミッド**、**人口移動**、**人口減少の要因(出生・死亡、転入・転出)**について把握。また、年齢3区分別に将来の人口についても把握。
【運用】地方自治体が過去・現在・将来の人口予測・分析に基づいて、**総合戦略**を策定することに役立つ。

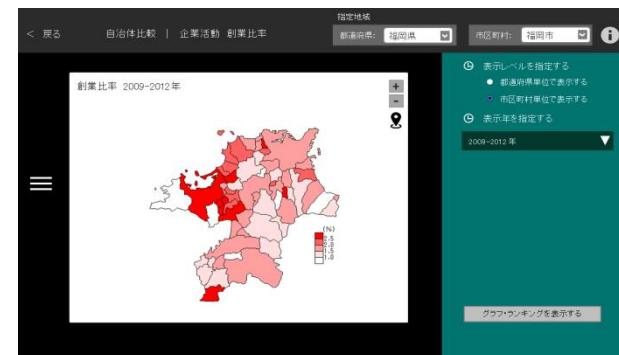
【機能】市区町村、都道府県単位で、様々な指標を比較可能。また、**ランキング**で自地域が全国でどの位置にいるかを把握。
【運用】中小企業支援の**目標設定**や**効果把握**が可能(KPIの設定)。また、**施策マップ**と連携することで、**ランキング上位の自治体の施策**を参照し、自地域の**施策策定**に役立てることができる。



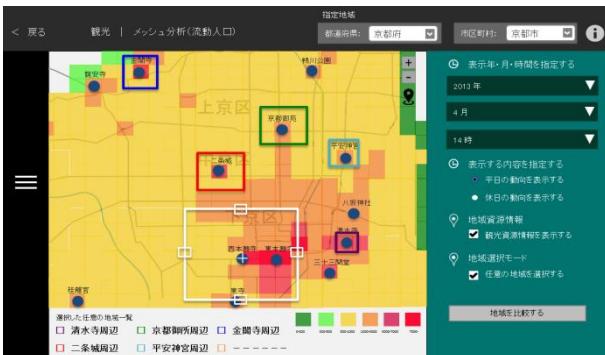
＜例4＞東京-石川間ラウンドトリップ分析



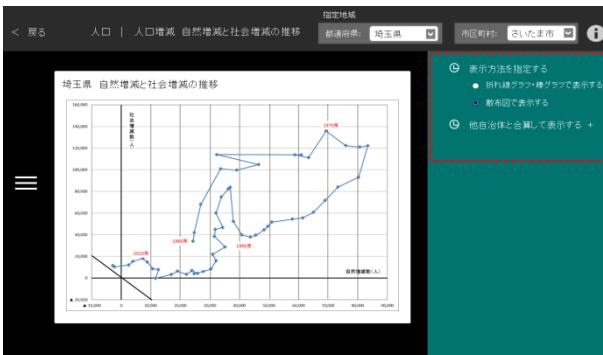
＜例6＞2010年と2040年の秋田県の人口ピラミッド予測



＜例8＞福岡県の創業比率比較



＜例5＞京都市の観光地人口スポット分析(メッシュ推計)



＜例7＞埼玉県の自然増減と社会増減の推移



＜例9＞福岡市・金沢市・長岡市の創業比率比較